



# わく楽通信

I 生きがいを見つける Information C 心つながる Communication T ともに学ぼう Technology



傘を持って歩く日が少なかった6月。7月に入ってから、雨模様で、洗濯物が乾きにくい日が続いていますね。

7月4日には鹿児島で記録的な大雨がありました。

7月13、14日は、熊本県の一部に警戒レベル4（全員避難）が発令され、熊本市内でも、多くの場所で冠水しました。

気象庁では「自らの命は、自らが守らなければならない状況が迫って生きていることを認識して」との〈命を守る備え〉を呼びかけ、早めの避難を呼びかけました。

「前も大丈夫だったから」

「まだ誰も避難していないから」

「そんなに焦らなくても、ここは大丈夫」人間には心の平穏を保つ働きがあり、緊急事態に遭遇した時にもそれなりに対応できるしなやかさを持っています。

しかし災害・天災のような予期せぬ出来事に遭遇すると、この働きが過剰反応してしまうことがあります。

その結果、行動を起こせずに、命の危険にさらされる状況を招いてしまうことがあります。

当事者の判断が鈍る時、外部からの働きかけが有効な場合があります。

「避難しましょう！」

「避難しましたか？」

遠く離れていても、今はLINE、ショートメール、メール、メッセージなど、さまざまな方法で「伝える」ことができます。

## 今月の話題

### 「私のツイッター見ましたか」

日本で開催されたG20。

大阪に滞在中の米国のトランプ大統領が韓



国の文大統領に「私のツイッターを見ましたか」と尋ね、文大統領も「見ました」と答えたことから、6月30日の米朝会談に至ったことは報

道の通りです。

米朝会談のきっかけとなったツイッターでの投稿は、29日朝7:51のこと。

-----



Donald J. Trump  
@realDonaldTrump



After some very important meetings, including my meeting with President Xi of China, I will be leaving Japan for South Korea (with President Moon). While there, if Chairman Kim of North Korea sees this, I would meet him at the Border/DMZ just to shake his hand and say Hello(?)!

♡ 169,374 7:51 - 2019年6月29日

（日本語訳）「中国の習近平国家主席との会談など、幾つかの非常に重要な会談を終えた後、私は日本を離れて韓国に向かう（文在寅大統領と共に）。北朝鮮の金正恩委員長がもしこれを目にしていたら、私は韓国に滞在している間、南北の国境・非武装地帯で、ただ握手をし、あいさつを交わすために金委員長に会うだろう(?)！」

-----

インターネットでの交流を経て、実際に会うことを「オフ会」と言います。

今回の米朝電撃会談は「事前に打ち合わせがあった」とも言われていますが、いずれ

にしても一国の大統領が SNS を用いて呼びかけた「史上最大のオフ会」と言えるのではないのでしょうか。

## 今月の質問

当たった人いましたか？  
オリンピックチケットのセカンドチャンス

先月号でも取り上げた2020東京オリンピックの観戦チケット、6月20日に抽選発表が行われました。

皆さまの周りにチケットが当たった方はいましたか？

「自分は全部はずれた。」

「家族、友人、知人、誰も当たっていない。」  
思ったよりも当選した人が少なかった、ということはありませんでしたか？

今回の抽選では、約750万人もの人がチケットの申し込みに必要なIDを登録しました。しかしこの度、「1枚も当たらなかった人」を対象に、8月に「セカンドチャンス」の抽選が行われることが決まりました。

セカンドチャンスに申し込める条件は  
▼前回、公式サイトから「ID登録」をして抽選に臨んだが、「すべてはずれた人」だけです。

次の方は、セカンドチャンスに申し込めません。

- ・抽選を申し込まなかった人
- ・1枚だけでも当選した人
- ・当選したが購入手続きをしなかった人

なお、人気の高い「決勝戦」「開会式」「閉会式」などはセカンドチャンスの対象外となります。

販売されるチケットは

- ・1つのIDで1セッションのみの応募
  - ・収容人数が多い競技
  - ・決勝ではなく予選
  - ・前回販売で倍率が低かった競技
- となる予定です。

**TOKYO  
OLYMPICS**



**2020**

## わかりやすい用語辞典

### ◆正常性バイアス◆

「正常性バイアス」とは心理学の用語です。日々の生活を送る中で、何かあるたびに過敏に反応していたら疲れてしまいます。神経も持ちません。

人間にはそのようなストレスを回避する能力が備わっていて、**多少のことであれば「これは正常の範囲内である」と思い込み、心の平静を保とうとします。**

これは生きていく上では必要な働きで、誰もが持っているものです。

ところがこの「正常性バイアス」が度を越してしまうと、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりすることがあります。

例えば災害時。一刻も早く避難すべき事態にもかかわらず、

「自分は大丈夫」

「今回は大丈夫」

「ここは大丈夫」

「まだ避難すべき

時ではない」と、危険を過小評価してしまいます。

その結果、避難が遅れ、命の危険にさらされることになってしまいます。

頭では「こういう時は避難した方がいい」とわかっている、実際の行動となると面倒なことが予想され、逃げなくても済むように「大丈夫だ」と勝手に思い込んでしまうのです。

正常性バイアスにとらわれやすいのは、一般的に若い世代よりもシニア世代とされています。

ではどうすればよいか。それは「素直になれるかどうか」です。警報・周囲の注意・情報を素直に受け入れられるかどうか。災害時には誰もが「正常性バイアス」にとらわれてしまうことをお忘れなく。

